



全日本大会開催決定 群馬マスターズ通信

発行：群馬マスターズ陸上競技連盟・広報委員会

8月22日現在

登録会員数
586名

全国大会開催決定！

会長 中沢 丈一

第40回記念全日本マスターズ陸上競技選手権大会を2019年に群馬県で開催することが正式に決定しました。

群馬マスターズの大谷前理事長は、日本マスターズ常務理事として活躍しています。会議の度ごとに、群馬マスターズの会員の増加の秘訣、躍進について、あるいは全国大会開催の将来展望について、質問攻めに在った様です。

群馬マスターズは、駅伝大会、選手権大会、クラブ対抗等、皆様の協力のもと熱心に事業を開催しています。特に近年、役員体制も部会が設置され、積極的に自発的に活動、運営を進めて頂いています。又、クラブ対抗戦の取り組みで、クラブごとに会員の増強が図られ、五百数十名の会員を持つまでになりました。

注目されている群馬マスターズに、先般、日本マスターズ会長名で、2019年全国大会開催要請文が届きました。6月11日、臨時理事・総会を開催し、全国大会を開催することを決定しました。

今後、実行委員会を設置し、群馬陸協や群馬県等関係機関に協力要請をしておりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

希望と活気あふれる大会の実現を！

事務局長 高橋 裕

1月より事務局長としてお世話になっております。あっという間に半年以上が過ぎてしまったというのが正直な感想です。その間、さまざまな方々から温かい激励の声をかけていただき、本当にありがたく思います。そして、2019年に全日本大会を招致することが、理事の皆様の承認を得て決定しました。大変であるとともに、やりがいのある仕事を与えられたなと感じております。

私自身は今年初めて全日本大会(新潟県)に参加させていただきます。競技を楽しむと共に、大会の雰囲気を感じ、運営方法などを学んできたいと思っています。また、課題を持ち帰り、今後の準備作業に生かしていきたいと考えています。そして、今後行われる一つ一つの大

ご援助、ご協力を

理事長 岡田 節男

今年から理事長になり、半年が過ぎました。その間に、春季大会、駅伝大会、日本マスターズ総会等がありました。

全国の主な議題は、国際大会に日本選手団として参加、障害者の競技会参加、第40回全日本マスターズ陸上競技選手権大会の開催県について等でした。

群馬に決定までは、5月21日に日本マスターズ陸上競技連合から開催要請が届き、5月28日臨時常務理事会、6月11日臨時理事会で満場一致で受託をし、大谷前理事長が6月12日の日本マスターズ総会で受諾を告げました。

組織は、大谷勝義副会長が全日本担当、そして鈴木長善前事務局長が全日本事務局長担当になり、この2人が中心になって動き出しました。

この事業を成功させるために、県スポーツ協会や県陸上競技協会等多くの協力をいただかなければならないので、各組織と連携を図る必要を感じています。

また、群馬県は交通の便がよく、関東各県や長野、北陸を中心に2000人を超える選手が参加すると予想できますので、競技運営や交通機関、競技場、用具等に予想外のことが起こると考えられます。

その対応に県会員の皆様いろいろな形でご協力をいただくことが多々あると思いますが、その折にはぜひご援助、ご協力をお願いいたします。

そして2019年第40回全日本マスターズ陸上競技選手権大会を成功させましょう。

会をしっかりと運営し、盛り上げていくことが、3年後の群馬大会の成功へとつなげることができるのではないかと考えています。

希望と活気あふれる群馬大会実現のために、全国大会事務局員の一員として、精一杯尽力していきたいと思っています。会員の皆様のさらなるご協力をいただきますようお願い申し上げます。

